

物理的性質のため液体燃料より高価な吹込み装置を必要とする。それゆえ天然ガスや石油が高価であるにもかかわらず、1966～1975年の前半には、それらが代用燃料として広く用いられるであろう。そしてその後半には固体燃料吹込み装置の改良により、石炭が広く用いられるようになる。また電氣的エネルギーの使用も考えられる。このようにも当たりの鉄の生産に必要なコークス量は

減少するであろうが、工業の発達はより多くの石炭やコークスを必要とするようになり、各々の国の経済的観点により石油や天然ガスにより補充されるであろう。

しかしコークスは高炉での最も重要なエネルギー源であることは変わりなく、1975年には、オーストラリア、ソ連、中共および米国が、コークス用石炭の主なる輸出国であろう。
(海老沢勉)

資料室だより

“訪ソ日本鉄鋼協会学術使節団” 資料について

昭和42年5月11日より5月27日までモスクワでソ連学士院化学部会主催の「冶金工程の物理化学的原理」を、テーマとしたシンポジウムが開催された。日本鉄鋼協会は、富士製鉄取締役副社長、的場幸雄博士を団長とした7名からなる学術交流の“訪ソ日本鉄鋼協会学術使節団”を派遣し、国際親善と技術交流に貢献すること大でありました。

ここに、このシンポジウムで配布された資料（英訳）の題目、著者名を掲載いたします。

資料は、協会にて保管されておりますのでご利用願います。

なお、これら資料は、すべて和訳されさらに日本よりの提出資料および使節団の報告をも含めて、今春「訪ソ学術使節団報告書」（仮題）と題して発行される予定です。あわせてご利用下さい。

著者名	題 名
V. K. Gigorovich	The Electronic Structure of Metal Melts
A. Samarin	Properties and Structure of Metallic Melts
N. N. Sirota	Microheterogeneity of Melts
I. A. Tomilin	Some Questions Concerning the Thermodynamics of Iron Carbide Melts
L. A. Shvartsman	
I. S. Kulikov	A Method of Calculating the Component Activity in diluted Solutions
A. A. Vertman	Microheterogeneity of Liquid Alloys and the Problem of Steel Deoxidation
A. Samarin	Structure of the Short-Range Order of Liquid Iron and the Solubility of Nitrogen in it
V. V. Averin	Deoxidation of Nickel and Nickel-Chrome Melts
E. A. Pastukhov	Semiconductor Properties of Fused Oxides
O. A. Yesin	
N. A. Vatolin	
I. T. Sryvalin	
O. A. Esin	The Thermodynamics and the Structure of Salt and Metal Melts
N. A. Vatolin	
B. M. Lepinskikh	
V. G. Korpochev	
S. T. Rostovtsev	The Kinetics and the Mechanism of the Iron Ores Reduction by Gases
A. N. Men	Thermodynamics of the Processes of Metallic Oxide Solutions Reduction
V. F. Balakirev	
M. G. Zhuravlyova	
G. I. Choufarov	